十二月十七日 夕刊

日曜祭日休刊 一ヶ月二十五錢 郵稅十五錢 一部二錢 廣告料 一行 四十錢 場所指定 貳拾錢增 發行兼編輯印刷人 今谷政孝 發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

山地の砂防工事
石双で十萬圓余
工費の八割は地元民の勞銀
相當霑はされてる農村

平町に事務所を置く縣の荒廢林地復舊工事は昨九年二月の事務設置以來去る八年度工事から十年度までに十萬圓以上を施行され目下は

石城郡川前村の中萱一八〇〇〇圓 赤井村西小川字五郎兵衛釜の一五〇〇圓 平窪村上平窪の大澤三五〇〇圓 双葉郡大久村の大久字道之神四〇〇〇圓

合計二万七千圓の外に施行濟みのもの一萬八千圓を合せて今十年度に四萬五千圓の砂防工事を行はれてゐる右の工事には地元民を以て人夫に當てセメントその他釘類の購入を除く約八割は全部勞銀となつて當轄部落を霑はしてゐるが右に就て橋本同所長は語る

當所の管轄は石城郡一圓と双葉郡舊楢葉を區域し山林崩壞の恐れあるもの及び災害地の擴大を喰ひ止めるための仕事であつて十二年三月まで平町に居ることになつてゐる趣旨は災害復舊であるが自然農村の救濟事業ともなり地方のため相當の働きをなしてゐながら餘り世間的に知れないのは標札が廻りくどい名稱の關係もあるでせう山地砂防事務所とでもせば早判りでよいと思ふ工事は私有林と村有林を主としてゐるが夏井川の流砂滯積は川前村から出るのが大部分であるものへ今秋の水害に同方面の國有林が二百個所も崩れてゐるのでこれを砂防せねば河川には効果がないと思はれると

常識講座

へどるは英語を日本語的にしたもので力のあらん限りを出したと云ふ意だ、英語のへビーを略したものへビーは正しく云へばヘヴイーで重き烈しき調、ベビーなら赤子、乳呑子

凶作應急施行
工事視察

小野耕地課技手が

濱通りに於ける凶作應急施設工事係り主任である本縣耕地課技手小野泰明氏は目下該當地を視察調査中であるが近く石城郡に移り平町及び永戶村から大浦村方面の實地調査をなす筈だが來る二十四日歸廳の豫定であると

極貧者に施給する
平助成會の同情金
週間に集る三百六十八圓余
新正月と舊年末に分けて

平町の助成會では例年の如く去る十二日から四日間同情週間を施行しせち辛い歲末を冷たい空つ風に吹きまくられて人と共に漸く正月は迎ひたが衣食に乏しい冷たさが吹く風よりも冷酷に身にしみる極貧者をしてせめて正月の三ヶ日位屈託なしに送らしたい同情をなすべく各種團体の應援を得て町內から集めた金が

第一日に九十九圓七十五錢
第二日に九十三圓 九錢
第三日に八十三圓六十四錢
第四日に九十二圓 十二錢

合計三百六十八圓十錢に達し內印刷代や諸雜費二十七圓二十五錢を差引いて三百四十圓八十五錢を得たので來る一月と舊年末の二回に分けて贈るべく該當者を調査中であるが眞に同情される境遇者の數は大体百戶三百五、六十人に上るらしく一名當り五十錢位の割合で本月二十五、六日頃施給されるもの△如くである

平と飯野の聯合で
今日青訓生の查閲
各個教練の後野外演習

石城郡下に於て數日來施行されてゐる青年訓練所の査閲は

去る十五日鹿島村に行はれ第二師團から參謀長來村その成績を賞められて引續く昨十六日は夏井村今十七日は平町及び飯野村を聯合福島聯隊區司令部附黒石中佐により百八十名の青訓生は午前八時半平町第一小學校集合同校庭で調練の後野外演習に移り松ヶ岡公園附近に於て步哨斥候の動作を交へ寒風に流れる砲聲勇ましく十時半頃同演習を終り査閲官の講評ありて正午解散したが成績の良好を賞された尚ほ明十八日は好間の査閲を行はれると

割合に動かぬ
平驛の歲末荷
新正月と舊年末の近い關係で
一般商人の手加減からか

平驛に於ける今月上旬の貨物の動きは十一月の輻輳に比して割合に閑散で發送二千四百四十三噸、到着五千二百二十噸この收入二千九百十二圓を前年同期に較ぶれば

昨年の發送二三六二噸（本年八一噸增）到着五一七三噸（四七噸增）收入三二九〇圓（三七八圓減）

を示し量に於て若干の增加を見ながら收入では三百七十八圓を減じてゐるが斯る奇現象は前月の激增による間ヵッかと云はれてゐる而して例年もに於ける幾末荷の本格的の動きは二十日から二十八、九日が普通であつて中間の二十五日前後が最盛期になつて居り本年は來る三十一日が舊十二月六日に當り新正月の賑はひを越えて間もなく舊年末に臨むので此の間の短かい關係が一般商人に手加減もあることだらうと觀測され一月に引續く舊年末の貨物は相當繁激な動態を呈するものでないかと云はれてゐる

仁井田堰の
改設起工

昨日から着工

石城郡小川江筋にかゝる同郡大野村戶田地內の仁井田堰は既報の如く過般の同組合臨時總會に於て大野村の施行により工費三千五百圓で改設することに決してゐたが昨十六日午前十時右の現地に關係者列席起工式を擧行して當日から着工した

新米出廻本格的
平倉庫に七百俵
引續いて賑やかな入庫米
暫く目で廿一日共販か

石城郡販聯の俵米共同販賣は地方に於ける稻作の收獲後れから出荷薄を續けてゐたが昨今漸く新米の本格的出廻りに入り平農業倉庫の入荷は昨十六日までに既に七百俵に達し古米の在庫二百俵を加へる九百俵に添えて賑やかな庫入りを呈して來た此の模樣では來る二十一日の定期共販に普通の出荷を示すだらうと豫想される一方に於ては新公定米價も吊り上げ濃厚の氣を傳へられてゐるので現在の平地方取引價四等一俵十圓五十錢より下るものとは想像されず暫らく目で活氣ある競入札を見られそうだと云はれてゐる

平署管下の
防犯週間

來る廿一日から

平署では來る二十一日から施行される防犯週間の準備中であるが左記の宣傳ビラを管內全部に配る外學校及び工場等に署員を派して防犯に關する講演をなすと

▲夜の賊心張棒で追ひ返せ ▲戸締油斷は賊を招く ▲慾に迷ふと詐欺にかゝる ▲屋外の照明は無言の警官 ▲豫防は官民の一致協力 ▲用心に被害なし（以上）

農產品評と
農事講演

植田鰯市場で

石城郡植田町の農產品評會は既報の如く昨十六日の最終日會場植田鰯市場で成績優良者の褒賞授與式を擧行したが齋藤縣農試石城分場長から柿の栽培に關する農事講演あつて午後五時閉會した

歐米視察講演

石城郡出身代議士佐藤庄太郎氏の歐米視察講演は各地に歡迎されてゐるが今十七日午後二時から小名濱小學校に於て同講演會を催された

勇士の遺骨

滿州に於て名譽の戰死せる相馬郡石神村出身騎兵上等兵吉田壽男勇士の遺骨は明十八日午後四時四十八分平驛通過の筈であると

業務年報取纏め

縣農試石城分場では年末に臨み同場業務年報成績の取り纏め中であるが傍ら果樹類の剪定を行ひ明年の計畫を研究考查中であると

○○○○剪定實地指導 內鄉村の果樹組合に於ける定期總會は昨報の如く今十七日同地一の矢神社で開催されるが縣農試石城分場長齋藤技師による梨の剪定に就て實地指導があつた

旺盛な前人氣
浪花節

今夜聚樂館で

いはらき新聞社の主催する廣澤虎造、木村重友師等の一行雲井雷太郞、木村友春、東家小樂燕師が加はる二十數名の浪花節は今十七日一夜限り平町聚樂館に催されるが旺盛な前人氣から見て木戶締切の盛況を呈するであらう

臨時技術
雇員募集

關東軍に於て

平職業紹介所では關東軍臨時技術雇員十八名の希望を斡旋してゐるが資格は工兵工長出身、在鄕軍人で共に土木工事に經驗あるもの甲種工業校卒業以上その他待遇は初任給現場手當百三十圓外に勤務手當宿舍等も給される筈で詳細は同所に問ひ合せられたいと

極貧者へ
糯米一俵

伊關呉服店から

平町二丁目の伊關呉服店では例年極貧者への同情を贈つてゐるが本年も平助成會へ糯米一俵を寄附されたので同會から該當者に贈られる筈である

新史蹟抄
三箱の湯本城趾に就て （10）
吉野朝臣廣橋經泰が常奧海道經略の本據（勿來學人）

又廣橋氏の系譜は不詳であるが、父は中納言平宗經と云ひ、初め修理亮、興國元年に至り肥後權守、尋で肥後守、後ち右少將、終ひに從二位大納言に陞り、親房卿薨去（正平九年四月、吉野に於て沒し同十四年、顯信卿は筑後にて戰死、守親卿の死年は不明）後、後村上帝に奉仕して、南山第二の親房郷とまで稱せられ、天授四年十二月、六十歲で薨ぜられたといふ。然らば元德元年の生れとならう。二子あつて長を經氏、次を泰尹是れ亦父に肖て大の勤王家、長じて奧州に下り、應永八、九年頃、靈山に戰死したと傳へられ、以後の子孫現存の史書に不戰。但し今の廣橋子爵とは血族上の由緒りがない、

簡易罐詰と壜詰（二）

縣農試講習會錄

（二）填充液、果物類は水一升砂糖三百匁位の砂糖液とし、蔬菜は水一升、鹽二十匁位の鹽水を煮沸して置く、

（三）容器、卷詰罐（形狀種々ある）壜類をその密封機と共に用意する、

（四）詰込み、材料を容器に詰め、填充液八分目位注入し假蓋する（冷詰あれども細菌入り易きが故熱湯を可とす）

（五）脫氣、蓋したるものを蒸熱し內容を膨張せしめ空氣を排除し直ちに密封する密封は罐詰では卷締機によるか又はハンダ附にするが壜詰では撓條にて假蓋せるが故に空氣逃出後冷却により自ら減壓により密封されるものである、

（六）殺菌、セイロ又は大釜にて蒸氣を當てるが其の時間は種々異なれども一斤罐で濃度酸度充分なる果實は約十五分で鹽氣漲き蔬菜では三十分乃至一時間半である（肉、魚類では一時間乃至二時間）玆で注意すべきことは殺菌後の密封具合を檢査することである、罐では蓋が外部へ膨れたるもの壜では撓條を外したる時蓋の密着不良なるものは不完全密封なるを以て除外しなければならぬ、

（二）壜詰、罐詰の種類とその密封法

一、壜、罐の比較大要

壜は單價高いが蓋附が簡單に出來るので家庭用に適する罐は慣安けれども卷締機を要する、

特約販賣
油問屋　油店　關內
平城署　電話長16

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社

支店　郡山市驛前通　電話長三二八
支店　茨城縣關本驛前　電話長平潟七三
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

內科、小兒科
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番
入院應需

債券　公債　兩替　金融
多田井質店
平町大工町　電話五九一番

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前　電六六九番
●自炊の便あり●

醬油　味噌　たひら正宗　鰹節食料品
明治生命磐城代理店
山崎與三郎
電話　營業部　本店　一二七〇番
お醬油は……ヤマフル
醫屋　山崎合名會社

冬の流行洋品御案內
新柄ショール豊富陳列
ソフト帽とネクタイ多數取揃
優良毛布とパンヤ枕豊富
毛編新型子供服とケープマント
にヤルツ
平四　電一四〇

結核に！
ホシアンチツベルケン
結核恐るゝに足らず!!
「不治の病」とは一種の迷妄——
1.50
1.50
3.00
5.00

結核豫防週間
肺結核は年々增加の傾向にあり、結核のために死亡する者は年々十二萬と稱せられ、また死亡までには至らないが、仕事も出來ずブラ〳〵して廢人同樣の生活に墮ちて居る人々を合すると實に約百萬乃至百五十萬人に上る推定である。當局は毎年結核の撲滅と豫防の爲め國民の喚起を促す事に努め、本年も四月廿七日より一週間を結核豫防週間として全國的に持たれてゐるがこの豫防週間を各人が効果あらしめなければならぬ。

肺及び呼吸器疾患
肺病豫防の根本は先づ必ず治る、「肺病は不治の病」とは一種の迷妄に過ぎぬことが、今日明になつたのであるからして治して見せると云ふ確固たる信念を持つこと即ち肺病の信念を固く持つこと、胃腸の健全をはかり營養物の消化吸收を良くし以て病氣に對する抵抗力を養ふこと、日光浴をすること、日光中の紫外線を最も治療的効果たらしめ、以て之が結核菌を殺し又身體の新陳代謝を能くした上に、これに信賴すべき藥劑をあせらず迷はずに、此の藥なら必ず治ると云ふ信念を以つて服用する、等であります。

ホシアンチツベルケン
に本社が大なる自信と誇りとを持つて居る有名藥の一つであつて結核菌に對する効能と、同時に咳を鎭める効と、輕度の熱を下げる作用とを兼有して居る藥であります。

本劑は肺結核、肺尖カタル、肋膜炎、氣管支カタル、僂敗性氣管枝カタル、に能く効く優秀なる治療藥であり、其他咳を鎭め痰を去り喘息にも奏効藥であります。

肺結核の疑ある人よ！
迷ふことなく、ホシアンチツベルケンに來たれ！

「健康の鍵」と題する肺臟疾病治療に關する小冊子あり是非御一讀を願む、チエーンストアに無き時は本社營業部宛御申込あれ無料送呈す。

東京・星製藥株式會社

全國ホシチエーンストアにあり
ホシチエン
平町三丁目　星藥舖　ホシチエーンストアー平支部　（電話四二九番）